

令和 6 年 5 月 9 日現在

機関番号：82602

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K19472

研究課題名（和文）ソーシャル・キャピタルの高齢者のうつへの影響の相違-アジア3か国の比較検証-

研究課題名（英文）Differential Effects of Social Capital on Depression among the Older Adults: A Comparative Study of Three Asian Countries

研究代表者

佐々木 由理（Sasaki, Yuri）

国立保健医療科学院・その他部局等・主任研究官

研究者番号：80734219

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：高齢者のメンタルヘルスとソーシャル・キャピタルの関連を中心に論文を11件（国際・国内ジャーナル各9件、2件）、学会発表を13件（国際・国内学会各2件、11件）発表した。コロナ禍の影響や、対象国の国内情勢で、一部フィールド調査、データ入手が困難となったが、先行研究をベースにした対象国の比較で補い、考察を展開した。地域特性を考慮した上で、高齢者のメンタルヘルスがソーシャル・キャピタルに関わる指標（インターネット使用なども含む）に関連していることが明らかとなった。また、性別、住居場所、宗教施設への通い頻度、主観的経済状況などは、高齢者のメンタルヘルス向上のための介入を行う上で考慮すべき特性であった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、日本老年学的評価研究（JAGES: Japan Gerontological Evaluation Study）の手法を活かして、主にソーシャル・キャピタルに着目し、ミャンマーの高齢者のデータを用いながら、メンタルヘルスの社会的決定要因を、背景の異なるアジア諸国（日本含む）と比較しながら明らかにすることができた。地域の周辺環境や人々との関わりといったポピュレーションアプローチにつながるソーシャル・キャピタルに注目した社会疫学調査を通じて、人と人のつながりを重視する東南アジアの国で、高齢者のメンタルヘルス向上に向けた介入において着目すべき因子を明らかにすることができた。

研究成果の概要（英文）： I published 11 papers (9 in international and 2 in domestic journals each) and 13 conference presentations (2 in international and 11 in domestic conferences each) focusing on the associations between mental health and social capital of the older adults. Although the impact of the COVID-19 and the domestic situation in the target countries made it difficult to conduct some field research and obtain data, we supplemented our discussion with comparisons of the target countries based on previous studies.

Taking into account the regional characteristics, it was found that the mental health of the older adults was associated with the social capital (including Internet use). In addition, gender, place of residence, frequency of attending religious facilities, and subjective economic status were also suggested as characteristics that should be taken into account when intervening in depression among the older adults.

研究分野：社会疫学 グローバルヘルス

キーワード：高齢者 メンタルヘルス ソーシャル・キャピタル

1. 研究開始当初の背景

アジア諸国で急速に高齢化が進んでいる。2050年には、中進国のみならず、途上国を含むアジア全域で高齢化社会を迎える(国連人口予測、2017)。これにより、三大感染症のみならず、非感染症疾患や要介護の顕在化が深刻な問題となる。さらに、高齢者の人生の満足と生活の質(Quality of life: QOL)、健康に自立して活動的な日常生活を送ること(Healthy and Active Aging)が重要な課題となる。WHOも、急速に高齢化が進むアジア諸国において、異なる社会的背景や文化的特性を鑑みて高齢者対策を進める必要性を唱えている。

その中で、うつ病は高齢者のQOLとActive Agingを阻む最も大きな要因の一つで、自殺や死亡の原因となる(Baldwin、2002; Unutzer、2002)。また、障害の重篤度をあげることも報告されており(Penninx、2000; 陳、2008)、結果として寝たきり等の要介護認定の危険因子となる(平井、2009)。しかし、高齢者個人の属性や社会環境別のうつの有病率やその関連要因はアジア諸国において十分に検証されていない。

また、これまで、保健施策は不健康・疾病のリスクが高い個人に介入するハイリスクアプローチが中心であったが、その効果には限界があることがわかってきた(Rockhill、2000)。その後、ソーシャル・キャピタル(地域の絆の強さ)といった社会環境へのアプローチ(ポピュレーションアプローチ)の効果が、日本や欧米で検証されてきている(Kobayashi、2015; Wendel-Vos、2007)。一方、アジアの途上国においてソーシャル・キャピタルが不健康のリスクを軽減するかどうかはわかっていなかった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、発展状況・社会経済・文化・環境の異なるアジア 3 か国 (日本、ミャンマー、マレーシア)において、地域特性を考慮した上で、ソーシャル・キャピタルとうつの関連を検証することとした。

3. 研究の方法

国内で経験のある日本老年学的評価研究 (JAGES) 調査を基礎とした高齢者に対するアンケート調査をミャンマーとマレーシアの 2 カ国で実施した。しかし、コロナ禍などの影響で、マレーシアでの調査が困難となったため、ミャンマーでのフィールド調査に焦点をおき、先行研究による文献レビューによって比較を行った。

4. 研究成果

地域特性を考慮した上で、高齢者のメンタルヘルスがソーシャル・キャピタルに関わる指標 (インターネット使用なども含む) に関連していることが明らかとなった。これは 3 か国のいずれでも類似の結果が得られていた。また、性別、住居場所、宗教施設への通い頻度、主観的経済状況などは、高齢者のメンタルヘルス向上のための介入を行う上で考慮すべき特性であった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 10件／うち国際共著 9件／うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 Ikuma Nozaki, Yugo Shobugawa, Yuri Sasaki, Daisuke Takagi, Yuiko Nagamine, Poe Ei Zin, Thae Zarchi Bo, Than Win Nyunt, Min Zaw Oo, Kay Thi Lwin, Hla Hla Win	4. 巻 20(Suppl 1):114
2. 論文標題 Unmet needs for hypertension diagnosis among older adults in Myanmar: secondary analysis of a multistage sampling study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Health Res Policy Syst	6. 最初と最後の頁 114
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12961-022-00918-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Yuiko Nagamine, Yugo Shobugawa, Yuri Sasaki, Daisuke Takagi, Takeo Fujiwara, Yu Par Khin, Ikuma Nozaki, Yuki Shirakura, Lwin Kay Thi, Zin Poe Ei, Zarchibo Thae, Hla Hla Win	4. 巻 13
2. 論文標題 Association between socioeconomic status and adherence to hypertension treatment among older adults in urban and rural areas in Myanmar: a cross-sectional study using baseline data from the JAGES in Myanmar prospective cohort study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e065370
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1136/bmjopen-2022-065370	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Yuri Sasaki, Yugo Shobugawa, Ikuma Nozaki, Daisuke Takagi, Yuiko Nagamine, Masafumi Funato, Yuki Chihara, Yuki Shirakura, Kay Thi Lwin, Poe Ei Zin, Thae Zarchi Bo, Tomofumi Sone, Hla Hla Win	4. 巻 19(6)
2. 論文標題 Association between Happiness and Economic Status among Older Adults in Two Myanmar Regions	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 3216
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph19063216	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 佐々木由理	4. 巻 28
2. 論文標題 ミャンマーにおける活動的で健康的な高齢者調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会と調査	6. 最初と最後の頁 112
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuri Sasaki, Yugo Shobugawa, Ikuma Nozaki, Daisuke Takagi, Yuiko Nagamine, Masafumi Funato, Yuki Chihara, Yuki Shirakura, Kay Thi Lwin, Poe Ei Zin, Thae Zarchi Bo, Tomofumi Sone, Hla Hla Win	4. 巻 16(1)
2. 論文標題 Association between depressive symptoms and objective/subjective socioeconomic status among older adults of two regions in Myanmar	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plos one	6. 最初と最後の頁 e0245289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0245489	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuri Sasaki, Yugo Shobugawa, Ikuma Nozaki, Daisuke Takagi, Yuiko Nagamine, Masafumi Funato, Yuki Chihara, Yuki Shirakura, Kay Thi Lwin, Poe Ei Zin, Thae Zarchi Bo, Tomofumi Sone and Hla Hla Win	4. 巻 18(6)
2. 論文標題 Rural and Urban Differences in the Factors Affecting Depressive Symptoms among Older Adults of Two Regions in Myanmar	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 2818
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18062818	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hla Hla Win, Than Win Nyunt, Kay Thi Lwin, Poe Ei Zin, Ikuma Nozaki, Thae Zarchi Bo, Yuri Sasaki, Daisuke Takagi, Yuiko Nagamine, Yugo Shobugawa.	4. 巻 10(10)
2. 論文標題 Cohort profile: healthy and active ageing in Myanmar (JAGES in Myanmar 2018): a prospective population-based cohort study of the long-term care risks and health status of older adults in Myanmar	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ open	6. 最初と最後の頁 e042877
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-042877	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuri Sasaki, Jun Aida, Taishi Tsuji, Shihoko Koyama, Toru Tsuboya, Tami Saito, Katsunori Kondo, Ichiro Kawachi	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Pre-disaster Social Support Is Protective for Onset of Post-Disaster Depression: Prospective Study From the Great East Japan Earthquake & Tsunami	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 19427
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-55953-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuri Sasaki, Jun Aida, Taishi Tsuji, Shihoko Koyama, Yukako Tani, Tami Saito, Katsunori Kondo, Ichiro Kawachi	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 Neighborhood Ties Reduced Depressive Symptoms in Older Disaster Survivors: Iwanuma Study, a Natural Experiment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph17010337	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuri Sasaki, Jun Aida, Hiroko Miura	4. 巻 69(1)
2. 論文標題 Social capital in disaster affected areas	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the National Institute of Public Health	6. 最初と最後の頁 25-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20683/jniph.69.1_25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuri Sasaki, Yugo Shobugawa, Ikuma Nozaki, Daisuke Takagi, Yuiko Nagamine, Yuki Shirakura, Kay Thi Lwin, Poe Ei Zin, Thae Zarchi Bo, Tomofumi Sone, Hla Hla Win	4. 巻 24(1)
2. 論文標題 Association between Internet use and depressive symptoms among older adults in two regions of Myanmar: a cross-sectional study	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 BMC Geriatrics	6. 最初と最後の頁 145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-024-04729-4.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計13件(うち招待講演 0件/うち国際学会 2件)

1. 発表者名 佐々木由理
2. 発表標題 ミャンマーの2地域の高齢者のスマートフォンの利用とうつ傾向の関連
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐々木由理
2. 発表標題 ミャンマーの2地域の高齢者の経済状況によるインターネットの利用とうつ傾向の関連
3. 学会等名 第37回日本国際保健医療学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐々木由理, 菖蒲川由郷, 野崎威功真, 高木大資, 長嶺由衣子, 船戸真史, 茅原祐紀, 白倉悠企, 曾根智史, Hla Hla Win.
2. 発表標題 ミャンマーの高齢者の客観的及び主観的な社会経済状況と幸福感の関連
3. 学会等名 第31回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木由理, 菖蒲川由郷, 野崎威功真, 高木大資, 長嶺由衣子, 船戸真史, 茅原祐紀, 白倉悠企, 曾根智史, Hla Hla Win
2. 発表標題 ミャンマーの高齢者の主観的及び客観的な社会経済状況とうつ傾向の関連
3. 学会等名 グローバルヘルス合同大会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木由理, 菖蒲川由郷, 野崎威功真, 高木大資, 長嶺由衣子, 船戸真史, 茅原祐紀, 曾根智史
2. 発表標題 ミャンマーの都市部と農村部の男女高齢者のうつリスク要因の相違
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長嶺由衣子、菖蒲川由郷、高木大資、野崎威功真、佐々木由理、船戸真史、茅原祐紀、白倉悠企
2. 発表標題 ミャンマーの高齢者におけるWealth Indexと高血圧治療アドヒアランスの関連
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuri Sasaki
2. 発表標題 Changes of Neighborhood Tie and Depressive Symptoms of Older Survivors in a Disaster Area: a Natural Experiment Iwanuma Study
3. 学会等名 International Society for Social Capital Research (ISSC) meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木由理、相田潤、辻大士、小山史穂子、谷友香子、齋藤民、近藤克則
2. 発表標題 高齢者の被災前後の近所づきあいの変化とうつリスク抑制の関連-JAGES岩沼プロジェクト-
3. 学会等名 日本公衆衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木由理、菖蒲川由郷、Hla Hla Win、Than Win Nyunt、Shamsul Ashal Shah、野崎威功真、高木大資、長嶺由衣子、船戸真史、三浦宏子、垣本和宏、眞鍋朋子、茅原祐紀
2. 発表標題 Risk of depression among older people in urban and rural areas in Myanmar
3. 学会等名 日本国際保健医療学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木由理、相田潤、辻大士、小山史穂子、斎藤民、近藤克則
2. 発表標題 震災前の社会的サポートは震災後のうつ発症予防となるか-JAGES岩沼プロジェクト-
3. 学会等名 日本疫学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuri Sasaki, Tomofumi Sone
2. 発表標題 The revised ASEAN-Japan Healthy & Active Ageing Index (HAAI)-Good Practices on revised HAAI in ASEAN Countries-.
3. 学会等名 IAGG Asia/Oceania Reginal Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐々木由理、菖蒲川由郷、野崎威功真、高木大資、長嶺由衣子、山本貴文、谷友香子
2. 発表標題 ミャンマーの高齢者の野菜・果物摂取頻度うつ傾向の関連
3. 学会等名 第82回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐々木由理、菖蒲川由郷、野崎威功真、高木大資、長嶺由衣子、山本貴文、谷友香子.
2. 発表標題 ミャンマーの高齢者の野菜・果物摂取頻度とうつ傾向の関連の男女の相違.
3. 学会等名 グローバルヘルス合同大会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

researchmap https://researchmap.jp/sasaki_y/ 国立保健医療科学院 公衆衛生政策研究部 https://www.niph.go.jp/soshiki/15koshu/sasaki_info/
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------